

第31回全国在日外国人教育研究集会・三重大会にご参加を！

多文化共生社会にむけて、学校や地域での教育実践を交流しよう

第31回全国在日外国人教育研究集会（三重大会）

私たち全国在日外国人教育研究協議会（略称、全外教）は、在日コリアンの子もたちへの差別撤廃のとりくみを出発点にして、在日外国人と日本人の子もたちの自立と連帯の場づくりを積極的に保障する運動や実践をすすめて、今年で三一回目の全国研究集会を三重の地で開催します。

三重県外教は、一九九九年の結成以来、地元県人教、県教組、国際交流団体などの機関と連携しながら活動をすすめてきました。「子どもフェスタ」「中高生交流会」「学習会」「研究集会」などの活動を中心に据えながら、三重県教委策定の「人権教育基本方針」や「外国人教育指針」「ガイドライン」等の作成にも関与してきました。また、昨年度開催された全人教大会では、「人権の夕べ」を四日市市人教と共催し、朝鮮の文化や次代を担う在日外国人の思いを発信してきました。

このような活動により、在日外国人児童生徒にかかわるとりくみに一定の広がりが見られるようになりました。さらに、三重県内に急増する外国人との共生に向けての施策等も策定され、徐々に共生のまちづくりが進んできました。

しかしながら、課題は山積しています。外国籍教員の任用にかかわる問題もそのひとつです。三重県では、二人の在日コリアン教員が誕生して約三〇年が経過しました。現在、新たな正規採用をめざして、在日コリアンが本名（民族名）で中学校に勤務しています。三重県外教としても、この青年を今後も支えていき、外国籍教員の任用差別問題についても解決の道筋を明らかにしていきたいと思っています。

そして、三重県では新たに渡日した外国人が急増し、現在、五万人を超える外国人が日本人とともに暮らしています。その中には、日本名を名のらざるを得ない子どもたちの存在があります。こうした課題は、全国的に存在し、日本社会の同化と抑圧、差別と排外の現状は厳しい状況であると言わねばなりません。

今年の全外教三重大会では、さまざまな課題を整理し、同時に全国のなかまどと交流しあい、子どもたちの未来を保障するために、今後の在日外国人教育をよりいっそう発展充実させたいと思います。

多数のみなさんの三重大会への参加を、心よりお待ちしております。



- | | |
|---------------|--|
| 日程・内容 | 2010年 |
| 8月6日（金） | フィールドワーク
「鈴鹿に残る朝鮮通信使にまつわる史跡めぐり」 |
| 8月7日（土） | 開会行事と記念講演
学校法人享栄学園 鈴鹿高等学校
（三重県鈴鹿市庄野町 1260） |
| 8月8日（日） | 分科会と閉会行事
学校法人享栄学園 鈴鹿高等学校
（三重県鈴鹿市庄野町 1260） |
| 8月6日（金）～7日（土） | 全国在日外国人生徒交流会
鈴鹿青少年センター
（三重県鈴鹿市住吉町南谷口） |
| 参加資料代 | 4,500円
（フィールドワーク参加費は別途） |
| 申し込み | 「開催要項」の申込用紙にて
（「フィールドワーク」以外は当日申し込みも可） |

主催：全国在日外国人教育研究協議会、第31回全国在日外国人教育研究集会・三重大会地元実行委員会

後援：三重県、三重県教育委員会、鈴鹿市、鈴鹿市教育委員会 他（以上申請予定）

連絡先：三重大会地元実行委員会・080-1552-1256・e-mail:mietaikai@zengaikyo.org